

平成 28 年 10 月 28 日

報道関係者各位

「おもてなしの心を世界へ」国民運動協議会
(公益社団法人マナーキッズプロジェクト他)



マナーキッズスポーツフェスティバル&シンポジウム開催の件
(「おもてなしの心を世界へ」国民運動協議会イベント)

2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けて、日本人が本来持っている「おもてなし」「もったいない」「思いやり」「分かち合い」の日本の心を再生すべく、公益社団法人マナーキッズプロジェクト(レガシー共創協議会のプロジェクト『「おもてなしの心を世界へ」ヘルス&マナーコミュニティ活動』をリーダーとして推進)及びこころの東京革命協会の2団体連携の「おもてなしの心を世界へ」国民運動協議会(ゆるやかなネットワーク)を平成28年2月に設立しましたが、第一回イベントを下記の通り開催します。

ご取材賜れば幸甚です。

記

- 1 大会名称：マナーキッズスポーツフェスティバル&シンポジウム
- 2 開催期日：平成28年12月10日(土) 10:00~14:00
- 3 開催場所：墨田区総合体育館
- 4 開催内容：別紙参照

問合わせ先

公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト 理事長 田中日出男

電話：03-3339-6535 FAX：03-6426-1580 Email: office365@mannerkids.or.jp

URL: <http://www.mannerkids.or.jp/>

補足説明

1 レガシー共創協議会のプロジェクトについて

「オリンピック・レガシー」とは、「オリンピック招致・開催により築いた有形・無形のレガシー(遺産)をいかに次世代に継承するか」という意味であり、国際オリンピック委員会(IOC)によるレガシーは、スポーツ社会(文化・教育)、環境、都市、経済の5つの分野に整理されております。

1964年東京大会は、戦後復興・高度成長の象徴として、発展するわが国の存在を国際社会にアピールする場となりました。2020年東京大会は、成熟社会となったわが国が、課題解決や質的向上の成果をオリンピック・レガシーとして世界に提示することで、21世紀の国際社会に貢献することが期待されます。

レガシー共創協議会(会長:早稲田大学スポーツ科学学術院教授 間野義之)は、株式会社三菱総合研究所が主宰するプラチナ社会研究会の分科会として、平成26年4月に設立され、平成27年8月現在、産官学221団体が、2020年オリンピック・パラリンピックのレガシーに関する情報発信や事業の具体化を推進しており、2014年8月、12月に「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会レガシー」に関する提言を行いました。

少子高齢化・人口減少、健康・医療・介護、環境・エネルギー、安全・防災、人材育成・全員参画、産業振興・雇用創出など、国内共通の課題の解決に、オリンピック・パラリンピックを活用できるはずです。

また、世界に7つの文明があるといわれるなか、一文明一国である日本は、「おもてなし」の言葉に表されるように相手を思いやり、相手に喜んでもらえることを良しとするのも特徴の一つだとすると、「和」や「おもてなし」などの精神文化を世界に発信できれば、最大のレガシーとなります。

2 「おもてなしの心を世界へ」ヘルス&マナーコミュニティ®について

47都道府県の約14万7千人の園児、児童と接して感じることは、「スポーツと礼儀で子供は変わる＝礼儀正しさのDNAは残っている＝」ということです。正しい姿勢、お辞儀・挨拶の仕方を知らないだけです。しかし、園児・児童が真に正しい姿勢、お辞儀・挨拶の仕方を体得するためには、家庭、学校、地域の連携が不可欠としてヘルス&マナーコミュニティ®(公益社団法人マナーキッズプロジェクトの商標登録)を提言しております。

今般、ヘルス&マナーコミュニティ®がレガシー共創協議会のプロジェクトとして開催されることになったのを契機に、墨田区がモデル事業第一号として、「おもてなしの心を世界へ」ヘルス&マナーコミュニティ®墨田を実施しております。(平成27年9月7日記者発表)

中学校区をモデルに幼稚園・保育園、小学校、中学校他においてマナーキッズ教室、マナーキッズ体幹遊び、「マナーキッズ」調べを実施し、また、「あいさつ運動」「クリーン作成(清掃活動)」「交通マナー向上」「資源回収作戦」「体力増強運動」を中心とした施策を展開し、マナー向上、ヘルス&フィットネス増進、コミュニティ活性化を通じてヘルス&マナーコミュニティ®が創生されることを確かめます。ヘルス&マナーコミュニティ®墨田の効果測定は、次のように実施します。

マナー … お辞儀・挨拶、歩き方・姿勢、言葉づかい、生活(早寝早起き朝ごはん)

ヘルス・フィットネス … 健康、体力、心理尺度、ストレス尺度、QOL 評価

コミュニティ活性 … 愛着度、地域イメージ、規範意識、自治意識、スポーツ参加

効果測定は、マナーの面から千葉敬愛短期大学明石要一学長に、ヘルス・フィットネスの面から筑波大学大学院人間総合科学研究科大森肇教授に、コミュニティ活性の面から早稲田大学スポーツ科学学術院木村和彦教授に研究委託します。

幼少年期、青年期に獲得した心身の鍛錬効果は潜在的に残存し、中高年期における心身の健康維持・増進に貢献するかもしれないという仮説¹⁾があります。「おもてなしの心を世界へ」ヘルス&マナーコミュニティ[®]墨田に対する検証は、そうしたロングスパンの構想のもとで行われることが期待されます。

また、「おもてなしの心を世界へ」国民運動協議会の設立を受けて、墨田区に「おもてなしの心を世界へ」ヘルス&マナーコミュニティ墨田協議会を設立し、資金面、ボランティア面で支援体制を構築します。

地域参加型のマナー向上に関するさまざまな地域活動を実施していくにあたり、参加率を上げるインセンティブとして、参加に対するポイント付与を検討します。

ポイント制度の設計にあたっては、事業目的に賛同する区内企業に広く協力を求め、区のみならず、区民、事業者と一体となって地域活性化につながる制度につくり上げていきます。28年度予算として5,020千円を計上しております。

墨田区で成功例を作り、全国の市区町村に発信します。

なお、岡山県備前市が第2号モデルです。また東京都杉並区立小中学校においても活動を開始しました。

1) 大森肇 ほか：神経・筋でのトレーニング効果は記憶される-再トレーニングに対する筋力増加応答-

体力科学, 49 : 385-392, 2000.

3 公益社団法人マナーキッズ[®]プロジェクトについて

公益社団法人マナーキッズ[®]プロジェクトは、幼稚園・保育園、小学校児童に対し、スポーツや文化活動を通じ、日本の伝統的な礼法を体験し、<体・徳・知>バランスのよい子供を育てる活動を行っております。既に47都道府県において、約14万7千人の小学校児童他が参加しております。(平成17年4月公益財団法人日本テニス協会マナーキッズテニスプロジェクト、平成19年6月NPO法人マナーキッズプロジェクト、平成22年2月認定NPO法人マナーキッズプロジェクトの通算。平成26年10月公益社団法人マナーキッズ[®]プロジェクトへ移行)

また、マナーキッズショートテニス教室を媒介とした体育・道徳融合授業は、35都道府県358小学校、幼稚園・保育園において実施しております。

マナーキッズ教室(園児、児童が、スポーツ等を通じて日本の伝統的な礼法を体験し、正しい姿勢、お辞儀・挨拶の仕方を体得、協力:小笠原流礼法鈴木万亀子総師範)、マナーキッズ体幹遊び(引用:東京都教職員研修センター「子供の体幹を鍛える～正しい姿勢のもたらす教育的効果の検証～」川淵三郎元東京都教育委員提言、協力:早稲田大学スポーツ科学学術院「子供の姿勢研究班」、根本わくわく体操教室根本正雄代表)、「マナーキッズ」調べ(園児、児童が身につけたい言葉、お辞儀・挨拶、歩き方・姿勢、生活、社会規範を明確化、明石要―千葉敬愛短期大学学長提言)を実施しております。

なお、全国で初めて予算化した品川区の浜川小学校から「規律正しい児童は学力も大きく向上する」―「マナーキッズ」を「市民科授業」に取り入れて―という事例報告がされております。

今までに10年間で約14万7千人の園児・児童が参加しましたが、3才以上の園児、小学校児童は約950万人いることを考えると微々たる数字です。

2020年を目指して年間100万人以上の参加者を達成したいと考えています。そのためには、ヘルス&マナーコミュニティ活動が第3、第4・・・と続く必要がありますが、教育界の保守的、閉鎖的体質、縦割り行政等から、達成するためのハードルは非常に高いと思っております。

「おもてなしの心を世界へ」国民運動協議会を設立し、各種啓蒙活動のイベントを開催することにより、「おもてなしの心を世界へ」の関心が高まり、全国各地の保護者、シニア等から、次世代を担う子供達のために、マナーキッズ教室開催の要請が湧き上がるか否かが目標達成の鍵だと思います。

なお、平成17年4月以来の参加者約14万7千人の内、マナーキッズテニス教室が約81%、マナーキッズサッカー教室、マナーキッズラグビー教室、マナーキッズ野球教室他が約9%、マナーキッズ体幹遊びが約3%、マナーキッズ文化教室が約7%です。

以上

《ヘルス&マナーコミュニティ®墨田》

2016年
12/10(土)
10:00~
墨田区総合体育館 武道場 他

体幹・腰骨
おもてなし

マナーキッズ® スポーツフェスティバル & シンポジウム

近年、全国のあちこちの学校で「いじめによる自殺」「学級崩壊」「小一プロブレム」といった誠に憂慮すべき現象が起っており、また、中・高校生の電車の中での食事、化粧、路上での地べた座り、社会人になっても挨拶がきちんと出来ない等、マナーの乱れが多く指摘されております。また、食材偽装表示問題、杭打ちデータ改ざん問題等にみられるように企業のモラルも問われております。

時あたかも東京オリンピック・パラリンピックに向けて、レガシー（遺産）をいかに次世代に継承するかが検討されております。日本人が本来持っている「おもてなし」「もったいない」「思いやり」「分かち合い」の日本の心を再生しようではありませんか。



スポーツフェスティバル

「公益社団法人マナーキッズプロジェクト」による推進事業

- 10:00~10:05 開会式(武道場)
- 10:05~10:12 正しい姿勢、お辞儀・挨拶の仕方指導
小笠原流礼法鈴木万亀子総師範(武道場)
- 10:12~10:30 マナーキッズ®体幹遊び教室(武道場)
- 10:30~11:45 マナーキッズ®剣道教室(武道場)
マナーキッズ®ショートテニス教室(武道場)
マナーキッズ®サッカー教室(多目的広場、雨天中止)
- 11:45~12:00 修了証書授与(武道場)

シンポジウム 13:00~14:00 武道場

「公益社団法人マナーキッズプロジェクト」による推進事業

「後世に誇れる無形のレガシー(遺産)を継承しよう」

コーディネーター

- ・山本 浩(法政大学教授、元NHK解説副委員長、アナウンサー)

パネリスト

- ・川淵 三郎(こころの東京革命協会会長、公益財団法人日本サッカー協会最高顧問)
- ・問野 義之(レガシー共創協議会会長、早稲田大学スポーツ科学学術院教授・博士)
- ・田中 日出男(公益社団法人マナーキッズプロジェクト理事長)

- ◆開催日時：2016年12月10日(土) 10時から14時まで
- ◆会場：墨田区総合体育館 武道場 他(東京都墨田区錦糸4-15-1 錦糸公園内 電話:03-3623-7273)
- ◆参加費：200円(「おもてなしの心を世界へ」特集号贈呈、保険料)(当日、受付にてお支払いください)
- ◆主催：「おもてなしの心を世界へ」国民運動協議会(公益社団法人マナーキッズプロジェクト 他)
- ◆後援：スポーツ庁 東京都教育委員会 墨田区教育委員会
- ◆指導：杉山 記一プロ 墨田区剣道連盟 墨田区サッカー協会 墨田区庭球協会
- ◆協賛：LION 今日と愛する。 RENAISSANCE

平成28年10月25日現在

参加ご希望の方は、下記参加申込書にご記入の上、

FAX(03-6426-1580)または同内容をE-mail(office365@mannerkids.or.jp)で〇月〇日(〇)までにお送りください。

スポーツフェスティバル 参加申込書

(幼稚園・保育園年中以上小学6年生まで)

カネ氏名	氏名	性別	男	女
住所	〒			
電話/FAX	E-mail			
参加希望種目に ○をしてください。	剣道	ショートテニス	サッカー	
いずれも定員約50名				

シンポジウム 参加申込書(定員約150名)

カネ氏名	氏名	役職名
住所	〒	
電話/FAX	E-mail	
参加希望者名	所属名	所属名
	所属名	所属名

なお、どちらも定員がございます。先着順で参加の可否を12月2日(金)までにFAXまたはメールでご連絡します。



公益社団法人
マナーキッズ®プロジェクト

「おもてなしの心を世界へ」国民運動協議会

シンポジウム コーディネーター、パネリスト紹介 (敬称略)

コーディネーター



山本 浩 (やまもと ひろし 法政大学教授・元NHKアナウンサー、解説副委員長)

2009年3月NHK退職、同年4月法政大学教授就任、スポーツ健康学部でコミュニケーション論、スポーツメディア論を講じる。NHK解説の分野では、プロ野球問題、大相撲改革、選手強化、スポーツのプロ化、タレント発掘、サッカー構造論、スポーツ放送論などを範疇とした。現在、(公社)日本プロサッカーリーグ理事、(公財)日本陸上競技連盟理事、(公財)日本体育協会国体委員、著書:「スポーツアナウンサー～実況の真髄～」岩波書店、「21世紀スポーツ大事典」<共著>大修館書店、「メキシコの青い空」新潮社

パネリスト



川淵 三郎 (かわぶち さぶろう こころの東京革命協会会長・公益財団法人日本サッカー協会最高顧問)

元サッカー日本代表、元日本代表監督
Jリーグ初代チェアマンを経て、第10代日本サッカー協会会長(キャプテン)
現公立大学法人首都大学東京理事長(キャプテン)
公益財団法人日本バスケットボール協会前会長、エグゼクティブアドバイザー
2020東京オリンピック・パラリンピック組織委員会評議員
著書:「虹を掴む」(講談社)、「Jの履歴書」(日本経済新聞出版社)、「采配力」(PHP新書)、「51歳の左遷からすべては始まった」(PHP新書)、「独裁力」(幻冬舎新書)



間野 義之 (まの よしゆき レガシー共創協議会会長、早稲田大学スポーツ科学学術院教授、博士(スポーツ科学))

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会参与
スポーツ庁・経済産業省「スポーツ未来開拓会議」座長
日本スポーツ産業学会理事
著書:「奇跡の3年 2019・2020・2021ゴールデン・スポーツイヤーズが地方を変える」(徳間書店)、「オリンピック・レガシー:2020年東京をこう変える!」(ポプラ社)



田中 日出男 (たなか ひでお 公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト理事長)

平成8年マナーキッズ®プロジェクトの「きっかけ」となった早稲田大学庭球部小学生テニス教室を開始。三菱化学株式会社常務取締役、江本工業株式会社取締役社長を経て、平成17年4月から公益財団法人日本テニス協会幼稚園・小学校マナーキッズ®テニスプロジェクトディレクター、平成19年6月からNPO法人マナーキッズ®プロジェクト理事長、平成26年10月から公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト理事長、インパクト・コンサルティング顧問。著書:「スポーツと礼儀で子供は変わる」(芸術新聞社)

ヘルス&マナーコミュニティ®墨田

マナーキッズ®教室

園児、児童がスポーツ等を通して日本の伝統的な礼法を体験し、正しい姿勢、お辞儀・挨拶の仕方を体得。

マナーキッズ®体幹遊び

引用:東京都教職員研修センター「子供の体幹を鍛える～正しい姿勢のもたらす教育の効果の検証～」

「マナーキッズ®」調べ

園児、児童が身につけたい言葉、お辞儀・挨拶、歩き方・姿勢、生活、社会規範を明確化。

挨拶運動

クリーン作戦

交通マナー向上

資源回収作戦

助け合い、思いやり、顔見知り、いたわり

体力増強運動

健康・体力作り